

平成27年度
優秀賞

株式会社タイヨー

会社概要

株式会社タイヨーは、昭和35年11月に創業し、平成28年1月現在、鹿児島県内ではタイヨー・サンキュー・グラード75店舗を展開している。平成20年に鹿児島県と「かごしま環境パートナーズ協定」を締結し、企業としての節電対策や地域での環境保全活動等にも取り組んでいる。

削減実績

C02 排出量削減率 32%達成（平成23年度比）

※電力排出係数の悪化の影響に配慮し、電力排出係数を基準年度（平成23年度）に固定して実績排出量を算定し、計画期間（平成24年度～平成26年度）の平均排出量を評価した。

実施した対策

全従業員による削減活動の実施

開店直前までの部分点灯、夏場のデマンドピークの時間帯に室外機への散水、空調の適正使用など、全従業員が積極的に省エネ活動に取り組んでいる。

また、本部から週毎にエネルギーマネジメント通信、月ごとに全店のエネルギー使用量等のデータを配信し、掲示などを行うことで、省エネ対策の普及啓発を行うとともに、悪化している店舗に対しては、原因の調査を行い、改善を図るなど、全体としての推進体制の確立がなされている。

省エネ設備の導入

県内64店舗でLED照明を導入している。また、省エネ型のオープンケースや冷凍機・空調機に入替を行い、電力消費量の削減につなげている。新店や大型改装を実施する場合も、省エネを意識した設備計画を行い、エネルギー使用量の削減を図っている。

デマンド監視装置の導入

平成20年度に全店舗にデマンド監視装置を導入しており、設備ごとのエネルギー消費の把握や、デマンドの設定値を超えそうな場合は店舗責任者に自動的にメール配信され、電力使用を抑える対策を行う等、電力使用量の削減に貢献している。装置のデータは、本社でも確認できるようになっており、全体としての対策の検討や実施にもつながっている。

また、平成25年度以降は、一部店舗において、エネルギー管理システム（BEMS）や自動空調制御を導入しており、更なるエネルギー消費量の抑制を進めている。

上記の対策などによって、電気の使用量は、計画期間中、合計12,304千kwh程度削減された。

今後も、省エネ設備の導入や従業員の取組みを継続する。



エネルギー管理システム
（写真：BEMS）



省エネ型オープンケース



エネルギーマネジメント通信